

第94回全国高校ラグビー大会県予選が6日、秋田市あきぎんスタジアムで開幕した。開会式に続き1回戦1試合を行い、秋田が秋田南に64-0で圧勝した。きよう7日は、同スタジアムで2回戦2試合を行う。

(佐藤亮真)

全国高校ラグビー

県予選 <第1日>

秋田猛攻、秋田南下す

▽1回戦

秋田 64 3331-0 秋田南

▽30分ハーフ▽キックオフ▽秋田南▽レフエリー▽澤木

秋田 53031 54033 642

秋田南 0000 0000 006

秋田が10トライを奪って得点を与えず、秋田南に大勝した。前半7分、秋田は敵陣の22

ライン手前でモールを形成して、そのままゴールまで押

善貴

川風藤山 藤田 藤田 藤原 奈木 谷

長五 工島 五進 吉賀 鎌木 佐藤 朝佐 熊

野員 藤川 田村 賀原 田浦 橋松 坂原 員

今千 伊吉 壇下 佐藤 謙三 高田 保 口 谷

▽交代▽秋田 脇坂(五十嵐貴)

佐藤 脩(木澤)



【秋田-秋田南】前半21分、秋田のH.O五十嵐善がトライを決める

し込んで最後はH.O五十嵐善がゴール中央に先制トライ。FWがよく走って4トライを追加した。後半も、15分にF.B熊谷が自陣から60メートルを独走するなどトライを重ねた。秋田南は、パスやラインアウトでミスが続き得点できなかった。

攻守とも練習の成果発揮

○…初戦を大勝で飾った秋田は、雨の中の試合となったため、パスを減らし、個々の突進を軸に攻めた。ナンバー8賀藤瑞貴主将(3年)は、FWが積極的に前に出て、2人がかりでタックルして止めるなど、攻守ともに練習の成果

きのこの結果

▽1回戦

秋田 64 0 秋田南

きょうの試合

▽2回戦

大館鳳鳴(13・00) 男鹿工金足農(14・30) 能代工

を出せた」と振り返った。

秋田南とは、互いに部員不足で昨年11月の全県新人から今年6月の全県総体まで合同チームを組んだ。2トライを決めたH.O五十嵐善之(同)

は「共にスクラムを組み、切磋琢磨(せつさたくま)した仲間。感慨深い試合だった」と話した。

今年、創部90周年を迎えた秋田。佐藤栄幸監督は「節目に単独チームで臨めた。入部

した1年生を2、3年生がカバーし、けがをしないように全員が当たり方、倒れ方の基本を徹底させた」と語る。

次戦は全県総体を制した秋田中央とぶつかる。賀藤主将は「当たり前負けせず、ロースコアに持ち込み、1点でも多く上回る。学校創立140周年だった昨年は花畑に行けなかったが、今回の節目では花を添えたい」と意気込んだ。



力強く宣誓する秋田工の奈良主将

秋田工主将、力強く宣誓

○…「熱く、激しく、ひた

向きにプレーする」。開会式で昨年優勝した秋田工の奈良望主将(3年)が力強く宣誓した。内容は伊東真吾監督とチームメイトと一緒に考えたという。「本番前は緊張したが、始まったら落ち着いてゆ

つくりと言ったことができた」とほっとした表情を見せた。大会連覇中の秋田工だが、6月の全県総体では決勝で秋田中央に敗れた。奈良主将は「宣誓して『いよいよ県予選が始まった』という気持ちになった。優勝して秋田工が県内で一番強いことを証明したい」と力を込めた。

第94回全国高校ラグビー大会県予選第2日は7日、秋田市あきぎんスタジアムで2回戦2試合を行った。男鹿工が大館鳳鳴に53-5、金足農が能



〈第2日〉

代工に94-12でそれぞれ圧勝し4強入りを決めた。きょう8日は、同スタジアムで2回戦残り2試合を行う。
(佐藤亮真)

男鹿工、攻守で鳳鳴圧倒

▽2回戦

男鹿工 53 122-5 大館鳳鳴 31 0-5
▽30分ハーフ▽キックオフ 大館鳳鳴▽レフェリー 池田 男鹿工 41022 53031 TGP前 TGP後 計反 鳳鳴 1005 0000 59

攻守で圧倒した男鹿工が、大館鳳鳴を下した。

男鹿工は前半7分、敵陣ゴール前のラックから、PR古山が抜け出して右隅に先制トライ。FWを中心に攻めて3分に敵陣22メートル付近のラックから左に展開し、WTB

▽2回戦

男鹿工 53-5 大館鳳鳴 金足農 94-12 能代工

きょうの試合

▽2回戦 秋田中央(13・00)秋田大館工(14・30)秋田工

金農16T、能工に大勝

▽2回戦

金足農 94(4450)712 能代工 41022 53031 TGP前 TGP後 計反 金足農 85050 82044 947

代工▽レフェリー 伊東 能代工 1005 1107 TGP前 TGP後 計反 金足農 85050 82044 947

金足農が16トライを量産し、能代工に大勝した。

前半1分、金足農は敵陣ゴール前5メートルのラックから、P

大館鳳鳴は前半にトライを奪うなど食い下がったが、後半に力尽きた。

大勝にも表情は厳しく

山藤施形浦仲藤山木泉田木藤大田 古齊布尾三田加島船今吉鈴佐伊藤 鳳鳴▽レフェリー 池田 男鹿工 41022 53031 TGP前 TGP後 計反 鳳鳴 1005 0000 59

吉田が左中間にトライを決め突き放した。

秋田で19年間指揮を執り、今春男鹿工に赴任した近藤監督は「男鹿工は個々の能力が高く、攻撃的なラグビーができる」と手応えを口にしている。準決勝に向け、WTB吉田翔太主将(3年)は「気持ちで相手に負けず、持ち味のアタックで攻め勝つ」と力を込めた。

前半は大館鳳鳴の激しいタックルに苦しみ、14分にはトライを許した。司令塔のSO今泉仁(2年)は「トライを決めたが、パスやキックで判断ミスも見られた。『花園予選』という重圧があった。次はもっと陣地を取ることができるよう心掛けた」と挽回を誓った。

R船木が持ち込み中央に先制トライ。左右に大きく展開する攻撃でトライを重ね、50-5で前半を折り返した。後半には、WTB佐藤心がスピードを生かし4連続トライを決

めた。能代工は前後半に1本ずつトライを決めたが、金足農の速さに対応できなかった。能工、速さに対応できず

前半23分、能代工は敵陣ゴール前10メートルで得たスクラムで、BKの選手がスクラムに入り、齊藤主将が後方にポジションを取った。120センチからスピードもある齊藤主将は、SHからボールを受けてサイドを突き、そのままゴールラインを突き破った。澤木賢一監督が1週間前に練った作戦が当たった。

試合終了間際に再び齊藤主将がトライを決め、SO佐々木寿孔(同)が難しい角度からのGKを決めた。チーム練習後、毎日1時間GKの練習を続けてきた努力家。「齊藤に頼り過ぎたので自分も決めたい」と話した。澤木監督は「練習は裏切らないと思ってくが、練習に参加して1、2年生に技術を教えたい」と花園出場のを後輩に託した。

木寿孔(同)が難しい角度からのGKを決めた。チーム練習後、毎日1時間GKの練習を続けてきた努力家。「齊藤に頼り過ぎたので自分も決めたい」と話した。澤木監督は「練習は裏切らないと思ってくが、練習に参加して1、2年生に技術を教えたい」と花園出場のを後輩に託した。



【金足農-能代工】前半23分、能代工のPR齊藤がトライを決める

秋田中央

男鹿工

4強出そろろう

金足農

秋田工

第94回全国高校ラグビー大会県予選第3日は8日、秋田市あきぎんスタジアムで2回戦の残り2試合を行った。秋田中央は秋田に55-15、秋田工は大館工に95-15でそれぞれ



れ大勝し、4強が出そろった。準決勝は26日に同スタジアムで、午後1時から秋田中央-男鹿工、同2時半から金足農-秋田工を行う。
(佐藤亮真)

秋工猛攻15T 大館工に圧勝

秋田工が15トライを奪って大館工を圧倒した。秋田工は前半6分、敵陣ゴール前10分のラックからWTB船木が先制トライ。その後、も攻め続けトライを重ねた。後半も攻め手を緩めず、3分に船木が自身3本目のトライを挙げると、5分にはCTB奈良が右中間にトライを決めて突き放した。大館工は終了間際にトライをもぎ取ったが、秋田工の突



【秋田工-大館工】後半、果敢に攻め込む大館工のL0高橋弘

木田代野藤田谷肥田木良田原田
鈴安田澤濱加藤水沼船勝藤藤
大館工 F W B T B F
秋田工 F W B T B F
藤澤村星弘田藤石藤村中田林井
橋本
齊仲上高高花村佐赤近中田成小藤
△交代 秋三浦(田代)、武田(勝田)、菊池(安田)、渋谷(梨田)、保坂(加藤)、菅原(土肥)、戸巻(濱野)、成田(沼田)
【大】伊藤(村田)

破を抑えられなかった。一丸で意地のトライ。○：昨年覇者の秋田工と対戦した大館工。秋田工の突破力とスピードに対応できず、初戦を飾ることはできなかった。ナンバー8佐藤快主将(3年)は「守備の練習を積んできた。強い気持ちで攻めのタックルで挑んだが」と目を赤くした。明石渉監督は「60分間、気迫のタックルを続けられた。相手の攻撃の時間を減らすことができ、点差は開いたが手応えのある試合だった」と選手たちをねぎらった。

大館工はラグビーの経験者がいない。「経験の差を埋めるべく、FWが前面に出て戦う格闘技のようなラグビーを目指してきた」と明石監督。終了間際、敵陣ゴール前のラックを押し込み、L0高橋弘(同)が意地のトライを決めると、選手たちは抱き合って喜びを爆発させた。佐藤主将

中央、そつなく秋田撃破

は「高橋はチームで一番体が大きく頼れる存在。3年間の集大成になるトライだった」と涙を抑えられなかった。高橋弘は「チームが一丸となった

て決めることができた。一生鳴と合同チームになる。佐藤主将は「明石監督が教えてくれた強い気持ちを持ってこれから頑張ってもらいたい」と後輩たちにエールを送った。

で攻めてくると思ったら、BK中心で戸惑い、序盤は自陣に差し込まれてしまった」と冷静に振り返った。前半は12分にWTB松本侑(同)が先制トライを奪うまで、秋田のタックルに苦しんだ。古谷和義監督は「花園予選に懸ける思いはこのチームも強い。秋田の気迫に押されて流れを持って行かれた」と厳しい表情を崩さなかった。

2トライを決めた松本も「序盤、相手のハイパントをノックオンしてしまい、流れを悪くした」と反省する一方、「自分のトライで流れを引き寄せたかった」と意地のトライを強調した。試合内容はチームにとって満足のものではなかった。準決勝(26日)の男鹿工戦に向け、徳原主将は「立ち

26日の試合

秋田中央 55-15 秋田工
秋田工 95-15 大館工

きのうの結果

秋田中央 13-00 男鹿工
金足農 14-30 秋田工

全国高校ラグビー県予選

きょう4強激突

第94回全国高校ラグビー大会県予選第4日はきょう26日、秋田市あきぎんスタジアムで準決勝を行う。決勝進出を懸け、秋田中央と男鹿工、金足農と秋田工がそれぞれ激突する。

全県総体覇者の第1シード秋田中央は、正確なパスワークや安定したセットプレーが光る。決定力のあるCTB土橋永卓(3年)とWTB松本侑(同)の二枚看板が好調。男鹿工は攻撃的なラグビーで4強に勝ち上がった。司令塔のSO今泉仁(2年)が、秋田中央の激しいプレッシャ

▽準決勝

秋田中央(13・00) 男鹿工
金足農(14・30) 秋田工

0000

ーにどう対応するか。

第2シード秋田工は、左右に大きく展開するラグビーが持ち味。初戦では船木聖也(3年)、藤原一希(2年)の両WTBを中心としたBKでトライを重ねた。金足農は初戦の2回戦で15人が一体となり計16トライを奪った。4連続を含む計5トライで存在感を見せたWTB佐藤心(1年)の走りが注目される。

(佐藤亮真)

第94回全国高校ラグビー大会県予選はきょう1日、秋田市あきぎんスタジアムで決勝の秋田中央―秋田工を行う。12月27日に東大阪市の近鉄花園ラグビー場などで開幕す

全国高校ラグビー県予選

る全国大会の出場権を懸け、激しい戦いになりそうだ。

中央FW強力、堅守光る 秋工個々の決定力武器

両校の決勝での顔合わせは6年連続で、過去5年は秋田工の4勝1敗。今年は6月の全県高校総体決勝で31―24で

勝っている秋田中央が優位に立つ。セットプレーが安定し、モールを押し込むなどFWが

を生かして積極的に展開し、活路を見いだしたい。

秋田中央は、FWを前面に出して突破を図るオーソドッククスのスタイルで県予選を勝ち上がってきた。準決勝の男鹿工戦ではモールなどで6トライを重ねた一方、相手をノットライに抑える堅守も光った。強いFWに加えWTB松本侑(3年)、CTB土橋永卓(同)のスピードも大きなりたい。

武器だ。

昨季の全国大会8強の秋田工は、総体の雪辱に燃える。今季は4月から伊東真吾監督が指揮を執り、タックルとスクラムの基本を強化しつつ、展開ラグビーを目指してきた。BKに能力の高い選手がそろっており、WTB藤原一希(2年)とFB猿田湧(1年)が勝負できる場面をつくりたい。(佐藤亮真)

花園懸け、きょう激突

古谷和義監督 攻撃力は全国レベルにひけをとらないが、ディフェンスはまだ弱い。目標は日本一。練習で取り組んできた成果を100%出し切

練習の成果出し切る



秋田中央

徳原要主将 決勝は技術よりも気持ちの強さが勝敗を左右する。積極的にタックルにいき、激しいプレーでチームを鼓舞し、秋田の頂点に立つて花園に出たい。

激しいプレーを貫く



伊東真吾監督 今春、監督に就任して以来、秋田工伝統のタックルやスクラムを強化してきた。相手进行分析し、大きく展開してWTB陣でトライを取る形を出したい。

展開からトライ狙う



秋田工

奈良望主将 今大会は開始10分の立ち上がりが良いので気を付けた。決勝はハードな試合になる。一人一人が対面する選手に接点で勝ち、チーム一丸となり戦う。

出だしの戦い方意識



